

平成30年度第15回ヨコハマe アンケート タンデム自転車に関するアンケート

実施期間 平成31年2月22日（金）から3月8日（金）

事業所管課 道路局 交通安全・自転車政策課

年代別・性別のメンバー数／構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	14 (0.5%)	44 (1.5%)	198 (6.8%)	396 (13.7%)	318 (11.0%)	340 (11.7%)	207 (7.1%)	2 (0.1%)	1,519 (52.4%)
女性	7 (0.2%)	90 (3.1%)	437 (15.1%)	443 (15.3%)	262 (9.0%)	105 (3.6%)	31 (1.1%)	0 (0.0%)	1,375 (47.4%)
不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	3 (0.1%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (0.2%)
計	21 (0.7%)	134 (4.6%)	635 (21.9%)	840 (29.0%)	583 (20.1%)	446 (15.4%)	238 (8.2%)	2 (0.1%)	2,899 (100.0%)

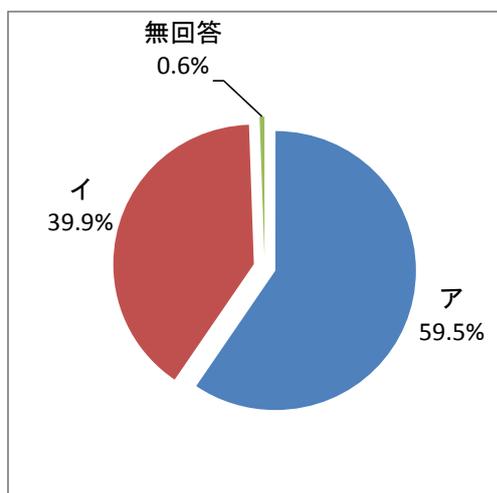
年代別・性別の回答者数／回答率

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	5 (35.7%)	14 (31.8%)	57 (28.8%)	180 (45.5%)	169 (53.1%)	224 (65.9%)	143 (69.1%)	1 (50.0%)	793 (52.2%)
女性	1 (14.3%)	14 (15.6%)	115 (26.3%)	150 (33.9%)	119 (45.4%)	47 (44.8%)	14 (45.2%)	0 (0.0%)	460 (33.5%)
不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)
計	6 (28.6%)	28 (20.9%)	172 (27.1%)	330 (39.3%)	289 (49.6%)	272 (61.0%)	157 (66.0%)	1 (50.0%)	1,255 (43.3%)

Q1 あなたはタンデム自転車をご存知ですか。(単一選択)

n= 1,255

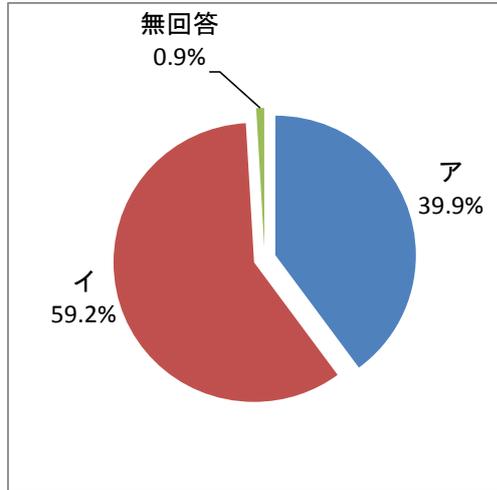
ア	知っている	59.5%	747
イ	知らなかった	39.9%	501
無回答		0.6%	7
		100.0%	1,255



Q2 タンDEM自転車に乗ったことがありますか。(単一選択)

n= 747

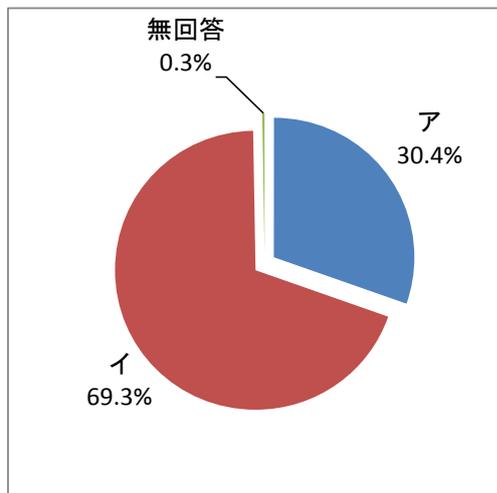
ア	乗ったことがある	39.9%	298
イ	乗ったことがない	59.2%	442
無回答		0.9%	7
		100.0%	747



Q3 神奈川県内では二輪の二人乗りタンDEM自転車で公道を走行することが禁止されていることを知っていましたか。(単一選択)

n= 747

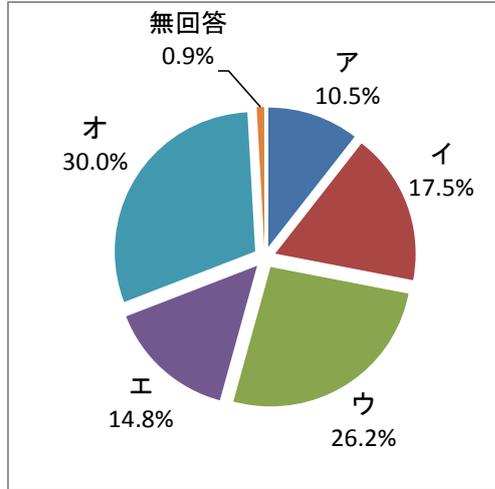
ア	知っていた	30.4%	227
イ	知らなかった	69.3%	518
無回答		0.3%	2
		100.0%	747



Q4 タンDEM自転車に乗ってみたいと思いますか。(単一選択)

n= 1,255

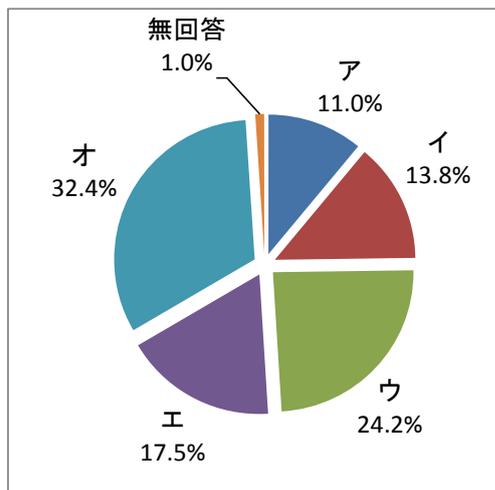
ア	そう思う	10.5%	132
イ	どちらかといえばそう思う	17.5%	220
ウ	どちらともいえない	26.2%	329
エ	どちらかといえばそう思わない	14.8%	186
オ	そう思わない	30.0%	377
無回答		0.9%	11
		100.0%	1,255



Q5 神奈川県内でも二輪の二人乗りタンDEM自転車で公道を走行できるようになった方がいいと思いますか。(単一選択)

n= 1,255

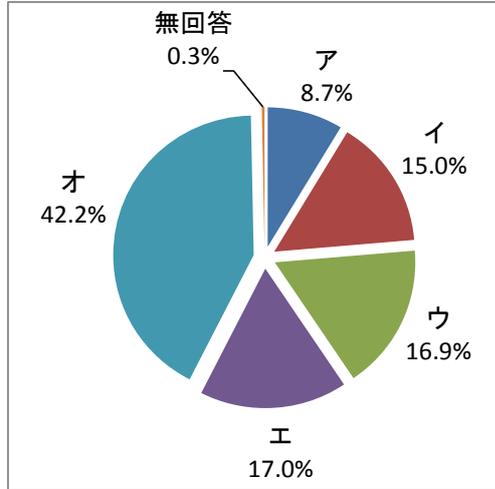
ア	そう思う	11.0%	138
イ	どちらかといえばそう思う	13.8%	173
ウ	どちらともいえない	24.2%	304
エ	どちらかといえばそう思わない	17.5%	220
オ	そう思わない	32.4%	407
無回答		1.0%	13
		100.0%	1,255



Q6 神奈川県内で二輪の二人乗りタンDEM自転車で公道を走行できるようになったら、タンDEM自転車に乗ってみたいと思いますか。(単一選択)

n= 1,255

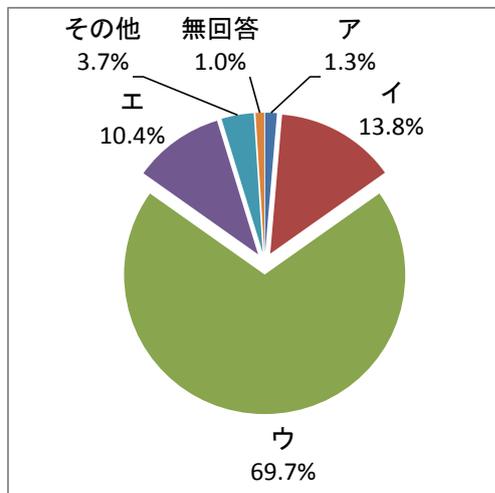
ア	そう思う	8.7%	109
イ	どちらかといえばそう思う	15.0%	188
ウ	どちらともいえない	16.9%	212
エ	どちらかといえばそう思わない	17.0%	213
オ	そう思わない	42.2%	529
無回答		0.3%	4
		100.0%	1,255



Q7 Q6でア、イと回答した人にお聞きします。どのように活用したいですか。(単一選択)

n= 297

ア	通勤・通学	1.3%	4
イ	買い物	13.8%	41
ウ	レジャー	69.7%	207
エ	運動	10.4%	31
その他		3.7%	11
無回答		1.0%	3
		100.0%	297



その他(抜粋)

主人が大の自転車好きですが私は乗れないので一緒に近場へ出かけにくいです。タンDEM自転車走行ができれば行動の場が広がり、生活にも張りができるし買い物も二人でできます。

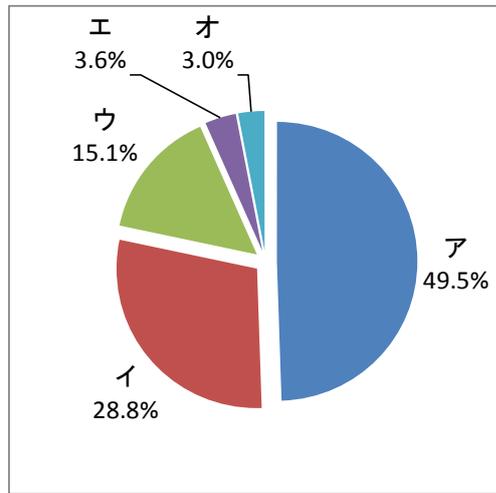
年齢的に自転車のチャイルドシートに乗れなくなった子供との移動手段。

「視覚障害者がサイクリングを楽しむ手段として活用」されているのであれば、ボランティアなどで視覚障害のある方の役に立てればと思います。パラリンピックに向けても良いことだと思います。

Q8 神奈川県内で二輪の二人乗りタンデム自転車で公道を走行できるようになった場合、危険だと思いますか。(単一選択)

n= 1,255

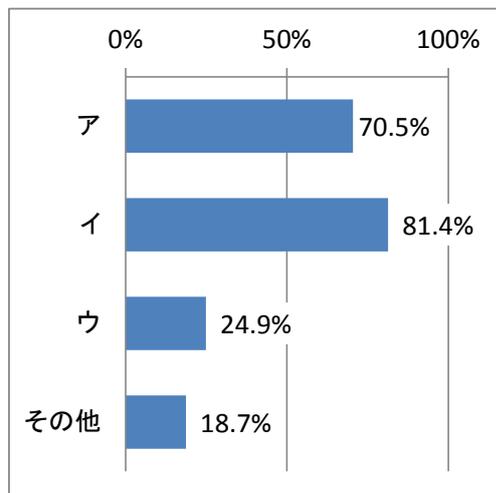
ア	そう思う	49.5%	621
イ	どちらかといえばそう思う	28.8%	362
ウ	どちらともいえない	15.1%	189
エ	どちらかといえばそう思わない	3.6%	45
オ	そう思わない	3.0%	38
		100.0%	1,255



Q9 Q8でア、イと回答した人にお聞きします。タンデム自転車のどのような面が危険だと思いますか。(複数選択可)

n= 983

ア	車体が長い点	70.5%	693
イ	不慣れだと安定した操作が困難である点	81.4%	800
ウ	スピードが出やすい点	24.9%	245
その他		18.7%	184



その他(抜粋)

タンデム自転車を想定した交通環境が整っていない。

レジャー要素が強く、不慣れな人が不用意に走行する場合、安全な自転車レーンや車両の通行量が少ない道路でない危険だから。通勤・通学・買い物の自転車とは別に考えるべき。

走行中のおしゃべりで周囲に対する注意力が低下する。

道路幅があるところで、専用走行路が取れるところはいいいが、一般の道路では、危険だと思う。特に一人乗りとは違い、小回りが利かないので。ただ、海沿いなど観光資源のある所などで、道路が整備できるのならいいのではないかな？

**Q10 Q8でア、イと回答した人にお聞きします。危険を軽減するためには、何が必要だと思いますか。
(自由意見)**

(抜粋)

・タンDEM自転車の利用は一定の講習が必要とするルールの制定 ・タンDEM自転車の特徴に関する周知
サイクルルールの徹底。講習会を開き、乗り方の体験をする。
タンDEMバイク専用道路の設定。タンDEMバイク乗車可能な、公道以外の限定した場所を確保(交通公園など)。
タンDEM自転車についての乗り方などの広報を行う。
ヘルメットの着用義務、タンDEM自転車乗車の講習会受講
安全教育の繰り返しが必要。
視聴覚障害の方達も、安心して外出やサイクリングを楽しめる為にも、自転車専用レーンの充実を期待します。
障害者など必要とする人のみ利用可能とするべき。たださえ、狭い歩道の自転車走行は危険を伴っているのが現状。普段乗り慣れない人の利用は危険が伴う。
道路が狭いところが多く、普通の自転車で走行してだけでも危険なので、自転車専用レーンを設ける必要があると思う。 オランダなどヨーロッパではタンDEM自転車をたくさん見たがやはり専用レーンがきちんと整備されていた。



ヨコハマeアンケート

平成 30 年度 第 15 回アンケートの「その後」

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどう活用しているのかなど、アンケートの「その後」をご紹介します。



タンDEM自転車に関するアンケート(平成 31 年2月実施)

担当 道路局 交通安全・自転車政策課

アンケートの回答を事業に反映した事例、又は反映する予定

引き続き自転車全般の安全利用に向けたルール・マナーの啓発に取り組みます。

アンケートを実施しての感想

タンDEM自転車に関する認知度、乗ってみたいと思う方等の割合が相対的に低かったことや、タンDEM自転車が公道走行可能となった場合の危険性に関するご意見を拝見し、その利用についての検討をしていくうえで、タンDEM自転車を含む自転車の活用は、生活に密着した乗り物として現在皆さまが利用している自転車全般の安全利用に向けた取り組みと一体のものであると感じました。

担当部署から登録メンバー様へのメッセージ

このたびは、アンケートにお答えいただき、ありがとうございました。

2人で力を合わせて運転するというタンDEM自転車の特性として、視力の面から1人では自転車に乗ることが困難な方でも、風を切って走る爽快感を体感できるという素晴らしい面がある一方、街での日常的な自転車利用の状況から利用上のルール・マナーが守られることの大切さを再認識させていただきました。

タンDEM自転車を含む自転車の、健康やレジャー等さまざまな面での活用を進めていくため、今後ともよろしく願いいたします。

ヨコハマeアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。